

■シリアのコロナ：体制側の支配域で新たに 3 人の感染者…ヌスラ戦線支配域で反乱

現シリア体制に属する健康省は日曜日、同体制の支配域内で新たに 3 人のコロナウィルス感染者が確認されたことを発表した。国内で発表された感染者数は計 19 人となり、内 2 人が回復し、2 人が死亡した。

同省は、シリアにおいてコロナウィルスが発見されて以降、3 月 29 日までに 2 名が死亡したことを発表していた。その後の土曜日、国内で確認された感染者の内 2 名が回復していることを明らかにした。

世界中でウィルスの流行が始まった後の事であるにもかかわらず、現体制は 3 月 29 日以前の感染については何も発表していない。このことが、イランが中東におけるウィルス蔓延の中心であるにも関わらず、29 日以前にイランとの巡礼者の相互の移動、イラン人戦闘員の出入りが続いていたのでは、という疑惑を呼んでいる。

多くの人は政府が発表するウィルスの感染者数を疑っている。一方ダマスカスと周辺地域は検疫を受けており、ダマスカスに出入りすることが禁止されている。複数の活動家は、それらの地域で感染が広がっており、その中にはイラン人民兵の拠点であるサイイダ・ザイナブ地区や、セイドナヤ市、マニーン市が含まれる、と言っている。

(後略)